

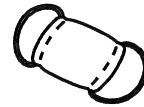


ひまわり日記



4月28日(火)

昨日、学校に台湾政府からマスク900枚が届きました。



4月21日の千葉日報に掲載された記事には

「台湾政府が新型コロナウイルス対策として日本側に寄贈したサージカルマスク200万枚が21日、中華航空の貨物機で成田空港に到着した。マスクは全国の医療関係者などに配布されるという。超党派の議員連盟「日華議員懇談会」(古屋圭司会長)の依頼に台湾



政府が応えたもの。午前11時に貨物機が着陸すると、「Taiwan can help 台湾日本友好」の横断幕が付いた荷物が貨物機から次々と降ろされた。

台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表は『日本と台湾の真の友情の証だ。コロナウイルスと闘うため、世界で団結しないといけない。お互いに手を組み、一日も早く通常の生活に戻れるよう期待する』と話した。

古屋会長は『心から感謝する。速やかに全国で必要とされている医療機関、特別支援学校に届くようにする。困った時に手を差し伸べてくれる友人こそ、真の友人だ』と話していた。」とありました。

「困った時の友人こそ真の友人」すばらしい言葉です。心温まる善意に感謝し、学校再開後に有効に使わせていただければと思います。先生方も手作りマスクを製作しています。再開時には素敵なおマスクを見ることができると思います。

5月7日・8日は休校となりました。感染者数は減ってきていますが、人が動き出したらどうなるかという検証も必要です。保護者の皆様には引き続きご負担をおかけいたしますが、よろしく願いいたします。学校では日々、再開後の対策について話し合いを重ねています。近日、現時点でのお知らせを郵送にて配付いたしますので、ご一読いただき、ご協力ください。

「1日も早く通常の生活に戻れるようにすること」それが私たちの願いです。

台湾からのマスクです



手作りマスクです



花壇のパンジーが満開です